

■澤田美喜 財閥の娘で外交官の妻だったが、〈敗戦〉後、混血戦争孤児のための施設を開設、救済に尽力した。

さわだみき

田中正造直訴1901= 東京の本郷で、_三菱本家の旧男爵岩崎久弥の長女に生まれる。

日露戦争終・1905= 4歳：

韓国併合・・1910= 9歳：

明治天皇没・1912=11歳：

厳格な家庭教育を受けて育ち、

民本主義・・1916=15歳：東京女子高等師範学校付属高等女学校を中退、

ベルリン条約・1919=18歳：

原敬首相暗殺1921=20歳：

水平社結成・1922=21歳：_外交官沢田廉三と結婚、夫に従って、アルゼンチンに赴いたのを皮切りに、

子供が次々生まれる中、_外交官夫人として海外生活、仏教崇拝の実家に背いてキリスト教に関心を抱くようになり、

金融恐慌・・1927=26歳：中国から_帰国後、

共産党事件・1928=27歳：_メソジスト教会で受洗した。

満州事変・・1931=30歳：

_夫のイギリス赴任に従って渡英し、

_孤児院に出会い、{聖公会}に入信するなど決定的な影響を受け、

夫の転勤に従ってフランスから、

芥川直木賞始1935=34歳：_アメリカのニューヨークへ渡ると、{聖公会}婦人会の日本部会長を務めるまでになる。

日中戦争始・1937=36歳：

この間、隠れキリシタンの遺物を蒐集して、

日米開戦・・1941=40歳：「大空の饗宴」を刊行、

敗戦・・・1945=44歳：

新憲法公布・1946=45歳：*列車内の網棚から紙に包まれた混血嬰兒の死体が膝の上に落ち、周囲から非難と差別の視線を浴びたことが契機となって、駐留軍兵士と日本女性の間次々と生まれる混血孤児の養育に生涯をかけることを決意、私財を投じるとともに、GHQと交渉して{聖公会}の財産管理組織{横浜福音教師社団}を組織、苦勞して資金を集めるうち、日本に長く住んだイギリス女性エリザベス・サンダースの遺産が基金として寄せられ、

極東裁判決・1948=47歳：

*大磯に実質的には個人経営の{エリザベス・サンダース・ホーム}を開設。

苦しい運営を続けながら、

独立回復・・1951=50歳：

_>{聖ステパノ礼拝堂}を併設、

マーチン事件・・1952=51歳：

_募金と移民法の壁の打開のため、戦後初めてアメリカへ渡り、以後、毎年のように渡米、

TV放送始・・1953=52歳：

_本館を建設、{聖ステパノ小学校}を開校し、社会福祉法人として認可された。「混血児の母」を出版。
_アメリカの女流作家パール=バックやフランスの黒人歌手ジョセフィン=ペーカーらが孤児を養子に引取ってくれたことから活動が目され、アメリカから定期的に送金を受けたり、芸能界からの寄附も受けるようになって経営も安定、

55年体制始・1955=54歳：

イノセント=メン・1958=57歳：

_学園の女教師が引揚げてしまったりしながらも、2000人を超す孤児を育て、海外との養子縁組を進めた。

美智子妃・・1959=58歳：

その間にも、「切支丹遺物集」を刊行、

安保闘争・・1960=59歳：

_その奉仕活動によって、ブラックウェル賞、

全国総合計画1962=61歳：

*成長した園児らが開拓民として自由な天地に生活できるよう、ブラジルに送り出して、{聖ステパノ農場}の建設に着手、

TV宇宙中継始1963=62歳：

「黒い肌と白い心」を出版。_朝日文化賞、

東京リビック1964=63歳：

大学紛争始・1965=64歳：

_国際孤児財団世界の婦人賞、

いざなぎ景気1966=65歳：

_総理大臣顕彰など、多くの賞を受けるが、

美濃部都知事1967=66歳：

{エリザベス・サンダース・ホーム}出身者の結婚式第一号が行なわれる。

大阪万博・・1970=69歳：夫が死去、

_情熱を注いだ{聖ステパノ農場}が挫折して、

石油ショック1973=72歳：

*人手に渡り、

成田衝突・・1978=77歳：

_テレビドキュメンタリー「子供たちは七つの海を越えた」は、成長した孤児らとの再会を放映して、感動を呼んだりするも、

貿易摩擦問題1980=79歳：

_プライベートな観光旅行で訪問したスペインのマヨリカ島で、客死した。

文春「同時代ノンフィクション選集6」、「この人どんな人」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、「日本の女性」、